令和５年度 紫原小学校「学校だより」（NO. １）

つくしんぼ

Tel 251－1323 http://keinet.com/murasas

教育目標 夢と希望を持ち「自立」した紫原の子供を育てる
～あいさつ・掃除が確実にできる子供の育成～

発行日 令和５年４月24日
発行責任者 校長 川畑 敏彦

600人のかけがえのない宝とともに
～夢と希望を持ち『自立』した紫原の子供を育てる～

校長 川畑 敏彦

4月6日，春の訪れとともに令和5年度の新任式，始業式，入学式を実施しました。始業式では代表児童2人が新学年でがんばりたいことをしっかりと発表してくれました。新任式，入学式でも6年生の代表児童が自分の思いをしっかりと発表しました。入学式では，元気な新一年生95人と最上級生の6年生が参加し，落ち着いた雰囲気の中で式が進行しました。紫原小学校のすばらしさを改めて感じることでした。

本年度は，全校児童600人のかけがえのない宝とともにスタートします。14人の新しい職員も加わり，57人の職員で子供たちの教育にあたっていきます。よろしくお願いします。

さて，令和5年度の学校教育目標は，
「夢と希望を持ち，『自立』した紫原の子供を育てる」
です。

教育の最終目標は，子供を「自立」させること。これからの社会がどんなに変化して予測困難になっても，自ら課題を見つけ，学び，考え，判断して行動し，それぞれに思い描く幸せが実現できる子供，そして広く社会に貢献できる人を育てていくことが，時代の変遷や地域の異なることでも変わらない普遍の原理であると考えます。

そのためには，学校，家庭，地域がそれぞれの役割をはっきりさせ，その役割をしっかりと果たしていくことが大切です。

1 家庭の役割と責任
保護者は，子供の教育に第一義的な責任を有するものであり，子供の中に信頼感，安心感を育みながら，基本的な生活習慣及び社会的規範を身に付けられるようにする。

2 学校の役割と責任
学校は，教育の目標が達成されるよう子供の心身の発達に応じた体系的な教育を展開し，将来の自立に必要な力を身に付けられるようにする。

3 地域社会の役割と責任
地域社会は，子供が地域で大人や異年齢の子供と交流し，様々な体験を積み重ねることで，豊かな人間性や主体性，社会性，郷土愛が育まれるようにする。

具体的には，「心のこもったあいさつと一所懸命掃除ができる学校」に取り組みます。

地域の方々にも自分から元気なあいさつができる。掃除は，自分の心を磨く掃除を目指す。縦割り班のよさを生かし，リーダーを中心に自分で考えて掃除ができるようにする。これは，本校の特徴でもある21世紀版「郷中教育」の推進にもつながります。

家庭でも「早寝 早起き 朝ごはん」等の基本的な生活習慣の確立，地域では，大人が後姿を見せながら活動する体験活動の充実等を通して，子供の「自立」をキーワードに，同じ目標に向かって紫原の「つくしっ子」を育んでいきたいと考えます。

本年度も紫原小学校の教育活動に対する御理解と御協力をよろしくお願いいたします。